

やまびこ館への招待

秋季企画展「月を慕う」

10月16日～11月25日

私たちにとって最も身近な天体「月」。夜を照らし、満ち欠けを繰り返すその姿は神秘的で、見つめていると、しんとした気持ちになりませんか。

世界中に月にまつわる神話や民話が伝わっています。新月から生まれ、満ちてゆき、そしてまた欠ける月のサイクルが、生と死をイメージさせたようです。また、月は歌に詠まれ、美術品の題材にも多くとりあげられています。

科学的な面からみても、月が地球に与える影響は多大で、潮の満ち干きもそのひとつです。

やまびこ館の秋の企画展「月を慕う」では、月と人との関係を、さまざまな視点からながめます。実体としての月と、イメージとしての月。人はなぜ月を慕うのか、あらためて見つめなおして見てください。



「野々村仁清作
色絵波に三日月文茶碗」
(東京国立博物館所蔵)

今回の展示では、アポロ計画に代表される、人類の宇宙への挑戦といった月へのアプローチもご紹介します。いろいろな月の魅力をお楽しみください。

ギャラリートーク / 会期中の毎週土曜日午後2時30分～3時
やまびこ講座のご案内

やまびこ講座 番外編	10月	21日(日)	10:00～10:30 14:00～14:30	宇宙食を食べてみよう!	当日受付
		28日(日)	10:00～10:50 14:00～14:50	ビデオ上映会「宇宙飛行の歴史」「茄子田家の親子でタディ/月より団子!？」	先着40人 電話申し込み
	11月	3日(土)	10:00～11:30	宇宙服を着てみよう!(宇宙服は成人男性用のレプリカです。)	当日受付
		4日(日)	14:00～15:30	撮影可	

11月11日(日)・18日(日)・25日(日)のやまびこ講座の詳細については、11月1日号でお知らせします。

問い合わせ先 やまびこ館 (☎23-2140)



第17回 国民文化祭・とっとり2002

夢フェスタ とっとり通信

～ふるさとふれあい夢づくり～
平成14(2002)年10月12日～11月4日

国民文化祭「能楽祭」 に向かって



今回は、鳥取県謡曲連合会会長の飼馬勇さんに聞きました。

来年、鳥取県で開かれる第17回国民文化祭の「能楽祭」は、鳥取市で開催されます。「能楽」は先般ユネスコから、「世界無形遺産」に宣言されました。今回の国民文化祭を機により一層「能楽」の素晴らしさをアピールしたいと願っています。

鳥取は、藩主池田侯が能楽好きだったこともあり、全国では少ない「喜多流」が盛んな土地です。現在は観世流、宝生流を合わせた三流派が鳥取県謡曲連合会を結成し、文化祭や薪能なども一致協力して運営しています。このような例は全国でも珍しく、大いに自負しているところです。「能楽祭」では、三流の宗家を招いて模範演能を披露するという大事業を計画し、実現の運びとなりました。しかも3日間にわたって全国からの各流同好者の発表を第1部とし、第2部に各流宗家を中心とした職分(プロ)の仕舞、狂言、能の模範演技を鑑賞するという豪華版です。ぜひとも、この機会に素晴らしい日本の伝統芸能の粋をご堪能ください。



鳥取市実行委員会ホームページ <http://www6.ocn.ne.jp/~kokubun/>